

指定管理者総合評価シート

施 設 名	守谷市南守谷児童センター（ミ・ナーデ）		
指定管理者	株式会社 こどもの森		
指 定 期 間	令和３年度 ～ 令和７年度	4	年目
施設所管課	のびのび子育て課		

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価	
I 実 施 体 制 に 関 す る 評 価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B	
	人員体制	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	A	A	
		スタッフのシフトは適正であるか（管理部門）	B	B	
		スタッフのシフトは適正であるか（現場）	A	A	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
	法令遵守	関係法令等の規定を遵守し、適正な管理を行っているか	A	A	
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A	
		避難経路は適切に確保されているか	A	A	
		消防機器の点検は定期的に実施されているか	A	A	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	B	B	
	【総括 I】	実施体制に関する評価		A	
	指定管理者の 自己評価	協定書、各種法令に則り、館運営を行ってきました。所管課をはじめ、地域団体や近隣学校、関係機関とも連携を取りながら、運営を行うよう努めました。			
	施設所管課の評価	当該施設は、協定書・仕様書に基づき適切な運営を行っており、開館日・時間の遵守、人員配置、シフト管理が適正に実施されている。地域ニーズを反映した研修・事業運営、市や関係団体との連携、広報活動にも積極的に取り組んでいる。また、法令遵守・情報管理も適切で、透明性ある体制が確保されている。総じて、安定した良好な実施体制が維持されている。			

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価	
Ⅱ サ ー ビ ス の 内 容 や 水 準 に 関 する 評 価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A	
	利用案内 利用状況	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A	
		施設の利用者数は市の期待（または事業計画書に定めた目標）に沿っているか	A	A	
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A	
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A	
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A	
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A	
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか（節電、グリーン製品購入等）	B	B	
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A	
		苦情や要望等に対する処理体制は整えられているか	A	A	
	利用者の意見の反映	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させる仕組みはあるか	A	A	
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A	
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A	
		台帳等の記録により備品が適切に保管されているか	A	A	
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A	
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A	
	【総括Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価		A	
	指定管理者の 自己評価	利用者と積極的にコミュニケーションをとることを大切にし、継続的な関係性が作れるよう努めました。またご意見やニーズも把握し、事業等に反映させる運営を行いました。			
	施設所管課の評価	施設は利用者の公平な利用を実現し、予約や講座の需要に柔軟に対応しています。利用者の声を反映し、施設の予約システムやサービスにおいて大きな混乱や苦情はなく、職員の対応への満足度も高いです。地域団体への積極的な周知が功を奏し、団体利用が増加しました。また、利用方法については、丁寧な案内とコミュニケーションを通じて、初めての利用者にも安心して利用できる環境を提供しています。施設は、児童の健全育成と地域コミュニティの活性化を目的に多様な自主事業を展開し、中高生向けのイベントや講座の実施により参加促進にも努めています。苦情や要望には迅速に対応し、信頼関係を築くための施策を講じています。維持管理も適切に行われており、全体的に高いサービスレベルを維持しています。			
評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価	
Ⅲ 収 支 等 に 関 する 評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A	
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A	
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A	
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B	
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	B	B	
	経費削減	経費削減に向けた取組を積極的に実施したか	A	A	
	【総括Ⅲ】	収支等に関する評価		A	
	指定管理者の 自己評価	専用の口座、帳簿などを備え、適切な経理処理を行いました。経費削減に向けた取り組みも積極的に実施しながら、収支計画書に即し適切な経理処理を行いました。			
	施設所管課の評価	指定管理に関する経費は、専用口座や帳簿を用いて適正に管理されており、収支計画と事業計画との整合も取れていた。物価高騰の影響を受けつつも、自動空調に頼らずブラインドやすだれも併用し適宜温度調整を行い、事務室等では電球を間引き節電に努めた。特に電力消費の多い7・8月には、前年比約970kWhの削減を達成。消耗品は法人割引を活用し価格を比較、修繕も複数社で見積もりを取り選定。地域ボランティアとも連携し、事業の質を保ちつつ創意工夫を凝らして経費削減に積極的に取り組んでいる点が評価できる。一方で、収支予算書の「その他の経費」等金額の大きな支出については、今後さらに内訳を明確に記載することが望まれる。			
Ⅳ	【総合評価】	Ⅰ～Ⅲの総括による総合評価		A	